

書きぞめについて

国語部

お正月には、日本古来の伝統が色濃く残っているものが多くあります。その中の一つが、平安時代から始まったとされ、新年1月2日に初めて文字を書く「書きぞめ」です。

学校では、1月8日、9日、10日に書きぞめを行います。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で取り組みます。

1年生	「お正月に、・・・」
2年生	「きれいなはつ日の出を・・・」
3年生	「美しい心」
4年生	「流れる星」
5年生	「進む勇気」
6年生	「新たな決意」

新しい年への期待と目標を書きぞめに託し、丁寧に心を込めて書くよう指導しています。

作品は、11日（土）から21日（火）まで各教室の廊下掲示板に展示します。個人面談の折や、ご都合のつく時には是非、ご覧ください。

なお、1月25日（土）、26日（日）の両日に練馬区立練馬美術館において練馬区連合書きぞめ展が開催されます。本校からも各学年より作品が出品されます。こちらも是非、お出かけ下さい。詳細につきましては、後日ご案内いたします。



高学年の窓（6年）

12月16日～19日、下田移動教室に行ってきました。晴天に恵まれ、目の前に広がる美しい海と薫る潮風の中、友達と様々なことを体験しながら、多くのことを学びました。

2日目に創作した俳句をご紹介します。

- ・恵比須島 海と地層に はさまれる (大谷 翠)
- ・朝起きて 立ったら頭 ぶつけたよ (春日 銀之介)
- ・太陽に 照らされきらきら 海笑う (佐藤 もここ)
- ・感謝して みんなでさばいた アジの開き(服部 華生)
- ・冬の海 カモメと進む 黒船よ (水上 恵希)
- ・アジ開き 人の苦勞が 伝わった (阿部 新之介)
- ・ベルデ着き みんな寝る場所 戦争だ (村山 美海)
- ・ベルデでは 隣の住人 さわがしい (吉住 果菜)
- ・リフト乗り 景色と震えが 順番に (畑 聡真)
- ・バスのレク みんな笑って 大騒ぎ (仲俣 太智)
- ・富士山を バックに光る 私達 (齊藤 凜々子)
- ・黒船で 空舞うえびせん ねらうトビ (高倉 結衣)
- ・恵比須島 海の音で 岩踊る (草川 隼輝)
- ・絶景が 恐怖に打ち克つ 大室山 (金倉 世旺)
- ・雨の音 下田の自然に 落ちてゆく (上田 朋未)



1月の生活目標

「友だちとなかよくしよう」

早いもので、今の学年も残すところあと3か月となりました。「〇〇さん、おはよう。」「サッカーやろうよ。」「入れて。」という子供同士の会話の中にほのぼのとしたものを感じます。友達と言葉を交わすことで、人と人とのつながりが見えてきます。『なかよく』というと遊びだけに限ってと思われるがちですが、協力し合って仕事をしたり、学習をしたりするときにもなかよくできると気持ちがいいです。

あと3か月、どの子も、振り返った時に楽しかった！ なかよくできてよかった！ と思えるようにしていきたいと考えています。ご家庭でもお子さんの話に耳を傾け、良いことはたくさん褒めて、自分の成長を実感できるようにしていただければ幸いです。

(生活指導委員会 宮崎 優佳)

システム障害により見られなかった学校のホームページが復旧しましたのでお知らせします。ご迷惑をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。